

Assist!

令和6年12月4日(水)

堺市立原山台中学校生活指導通信No.7

発行者：生徒指導主事



相談体制強化中

1. いじめアンケート実施！～自分事ととらえよう～

第三回定期テスト最終日に、「学校生活・いじめについてのアンケート」を実施しました。1学期にも、「いじめ」を自分事としてとらえてもらうために確認した<いじめの定義>について、覚えていますか。<いじめの定義>

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人的関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む。)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。

つまり、心身の苦痛を感じているかどうかポイントとなります。他人の気持ちを理解することは、容易ではありません。だからこそ、相手の立場を思いやることがとても大切です。学校内で起きているトラブルにおいても「(相手が)そこまでいやがっていると思ってなかった。」「遊びのつもりで冗談で言ってしまっていた(してしまっていた)。」「ということがよくあります。あとになって振り返るとやりすぎていたと考えることができることも多いです。現在の自分の言動でいやな思いをしている人がいないか、今一度、自分自身で振り返ってみましょう。

先日実施した「学校生活・いじめについてのアンケート」では、生徒のみなさんの声を学校が聞くことで問題の「早期発見」、「見逃しゼロ」や「重大事態化を防止」していくことに加え、いじめについて、一人ひとりが『他人事ではなく、自分事』としてとらえていくことも目的としています。いじめについて、一人ひとりが許されることではないという認識のもと学校生活を過ごせるようになると、みんなが安心・安全に過ごしやすい学校をつくることのできるのではないのでしょうか。あなたたちの学校をあなたたち自身がよりよい場所としていくために、いじめは『他人事ではなく、自分事』としてとらえ、いじめを許さない雰囲気を生徒のみなさんが主体となってつくっていける学校になるといいですね。

また、アンケートに書けなかったけど、相談したいことがある場合には、遠慮せず先生へ相談してください。自分の悩みを打ち明けることは、勇気のいることかもしれませんが、決して恥ずかしいことではありません。些細なことでも、悩みを聞いてくれる人がいるだけで、気持ちの整理がつくことも少なくありません。先生に言うことが難しい場合は、学校HPに掲載されている各種相談窓口も活用してみてください。

原中版

ネットトラブルは
<ややこしい>
～まもるんやさかいより～



ネットトラブルは<ややこしい>～まもるんやさかいより～

や

1 さしい言葉を選ぶために、
確認して送るなー！

メッセージを送る前に
ひと呼吸して
考えてから送ろう!!

